

研究課題名	初学者における十二指腸鏡挿入困難因子の検討。(十二指腸乳頭正面視まで)
研究の意義・目的	胆道、膵臓疾患の内視鏡検査を成功させるには、十二指腸にある乳頭を正面視することが必要です。しかし、初学者(本研究では ERCP 経験数 200 例未満と定義し、4 人がこれに該当)は、内視鏡を十二指腸の乳頭まで進める過程で躓くことが多いとされています。初学者の胆道、膵臓疾患の内視鏡検査における十二指腸到達困難な因子について検討し、その因子を把握することで検査前からの適切な対応や手技成功の向上に役立つと考えます。今後初学者への指導の一助にもなると考えられ、非常に意義のある研究であると考えます。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～2023年3月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2019年4月から2020年1月の間に、大阪市立大学医学部附属病院消化器内科において、内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)における初学者施行したERCP症例が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた情報を本研究に使用させてください。 使用する情報:解剖学的要因・背景として、年齢、性別、胃の術後の有無、体位、残渣の有無、胃潰瘍癒痕/ESD後癒痕の有無、高度食道裂孔ヘルニアの有無、胃変形の有無、十二指腸狭窄の有無、胸腹部術後の有無、腹膜播種の有無、急性胆管炎・胆道感染既往の有無、急性膵炎既往の有無、慢性膵炎の有無、肝左葉腫大の有無などの情報、また ERCP 時に咽頭から乳頭正面視までかかった時間
試料・情報の他機関への提供	本研究は大阪市立大学医学部附属病院消化器内科のみで行い、他の施設に情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	本研究は大阪市立大学医学部附属病院消化器内科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学 研究責任者:丸山 紘嗣
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学 担当者氏名:丸山 紘嗣 住所 545-8585 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3 電話 06-6645-3811 FAX 06-6645-3813